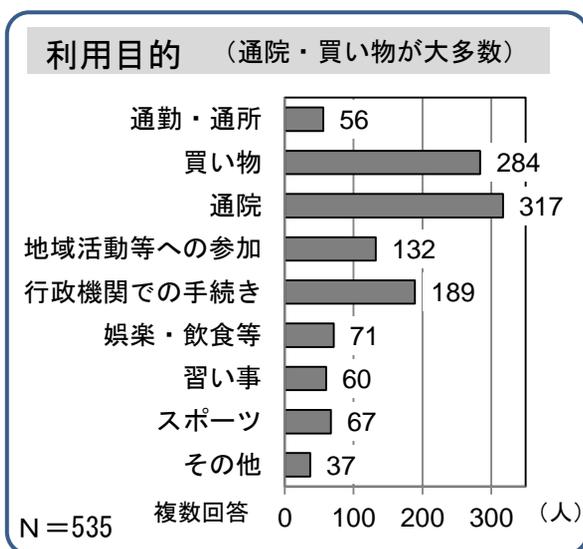
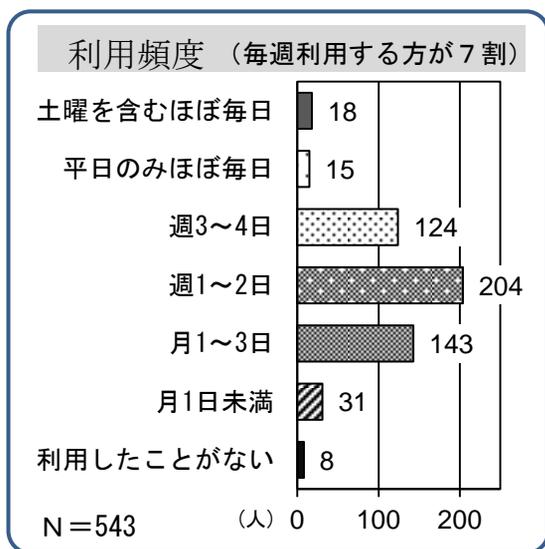
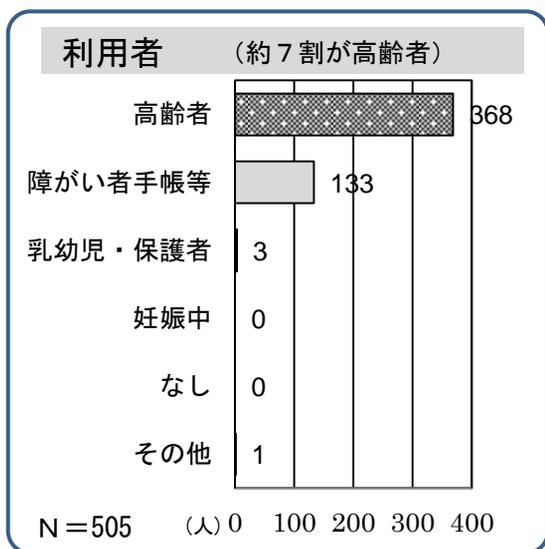


ゆうゆうバスは、高齢者・障がい者等にとって、大切な移動手段



ゆうゆうバスの利用者実態調査結果 (交野市地域福祉計画推進審議会資料より。アンケート配布 1051 部、有効回収数 559 部)

心配の声

なくなれば、どこにも行けない

神宮寺 ○子



交野病院に行くのに神宮寺から「ゆうゆうバス」に乗り、郡津駅前であり、交野病院の送迎バスに乗ります。交野駅前の整骨院に行くのも「ゆうゆうバス」、イズミヤの買い物も「ゆうゆうバス」です。毎週2~3回利用しています。

知り合いも、交野駅前・河内磐船駅前に医院や買い物に利用しています。ゆうゆうバスが無くなれば、どこにも行けません。

ゆうゆうバスは、交野の優れた施策

平成4年に交野市立保険福祉総合センター(ゆうゆうセンター)が建設され、市民の利便性確保のため、2台(2コース)で運行を始めました。平成6年から3台3コース(倉治コース・郡津コース・星田コース)に増便されました。

平成22年、財政健全化との名目で2台2コースに減便され、同時に利用者を、65歳以上の高齢者・障がい者・妊娠中の人などに限定しました。

ゆうゆうバスは、外出支援バスとして交通制約者に無料で移動を提供する優れた福祉施策です。市の支出は2台で年間約2千万円。他市の移動交通手段より安価となっています。

廃止はもっての外

私市山手 A生



「ゆうゆうバスが無くなると絶対に困る」と近所でも会話になっています。

私市山手は住民運動により、青葉台と私市山手の両集会所まで、バスが来ています。

地図上では駅まで短距離に見えますが、急な坂道が続く、歩くのには、きつい人が多いのです。ゆうゆうバスが、通院や買い物には欠かせない人が多いです。

「廃止はもっての外、現行の2台を3台・4台に増やしてもっと充実を！」が住民の圧倒的多数の意見です。

小回りの利く外出支援・交通手段を

星田 K生



私は術後のリハビリを兼ねて週1回、ヘルパーの人と「ゆうゆうバス」に乗り、「いきいきランド」のプールへ行っていました。ゆうゆうバスを乗り換えするため、往復3時間半かかって、プールにいるのはわずか50分程度です。なぜ、こんなことになってしまうのでしょうか？ 運行本数が3台から2台に減便されたからです。納得のいく説明抜き「バス廃止案」には承服しかねます。

今後の交野のことを考えても、誰もが安心して、しかも小回りの利く外出支援・交通手段の確保・充実を強く望みます。

日本共産党の提案

- ゆうゆうバスは廃止せず、改善・拡充をはかる
- 京阪バス路線確保のため、財源措置を含め事業者と交渉する
- 新たな交通手段(コミュニティバス・乗合タクシー等)の検討